

日高市水道料金改定 説明会資料

令和7年6月15日(日)武蔵台公民館

令和7年6月22日(日)高萩公民館、生涯学習センター

日高市水道事業料金改定説明会資料の構成

1. 日高市水道事業の概要について
2. 水道料金改定の背景
3. 水道料金改定の概要
～今後の水道事業の経営に向けて～

1. 日高市水道事業の概要について

【業務量】

事 項	令和5年度	令和4年度	比 較	
			増 減	前年度比(%)
年 度 末 給 水 人 口	54,298人	54,526人	△228人	△ 0.4
年 度 末 給 水 戸 数	25,065戸	24,773戸	292戸	1.2
年 間 配 水 量	7,076,140m ³	6,755,095m ³	321,045m ³	4.8
月 平 均 配 水 量	589,678m ³	562,925m ³	26,753m ³	4.8
年 間 有 収 水 量	6,396,459m ³	6,184,164m ³	212,295m ³	3.4
月 平 均 有 収 水 量	533,038m ³	515,347m ³	17,691m ³	3.4
有 収 率	90.4%	91.5%	△1.1ポイント	－

2. 水道料金改定の背景

- ①水道施設の老朽化に伴う維持管理費等の増加
- ②水道料金収入(有収水量)の減少
- ③水道料金収入の減少に対するこれまでの取組み
- ④埼玉県水道用水供給事業の料金改定の実施

①水道施設の老朽化に伴う維持管理費等の増加

○管路延長(令和5年度末現在)

導水管:5.73km、送水管:8.31km、配水管:283.31km

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管路経年化比率	27.37%	28.88%	27.40%	29.64%	32.89%

※管路経年化率(法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示すもの)

○施設状況全22施設（日高市水道ビジョン2017参照）

取水施設:北平沢第1取水場 外4施設

導水施設:北平沢中継ポンプ場

浄水施設:高岡浄水場、高萩浄水場、高麗本郷浄水場

圧力調整施設:武蔵台減圧場、横手ポンプ場 外3施設

配水施設:高岡配水場、高麗本郷配水場、武蔵台配水場 外5施設

※以上、令和6年3月末現在。

②水道料金収入(有収水量)の減少

【主要要因】

○少子高齢化や世帯当たりの人口減少による使用水量の減少

○節水型機器の普及による使用水量の減少

※家庭用の給水収益は、令和4年度に比べ令和5年度は、600万円程度の減額となっている。

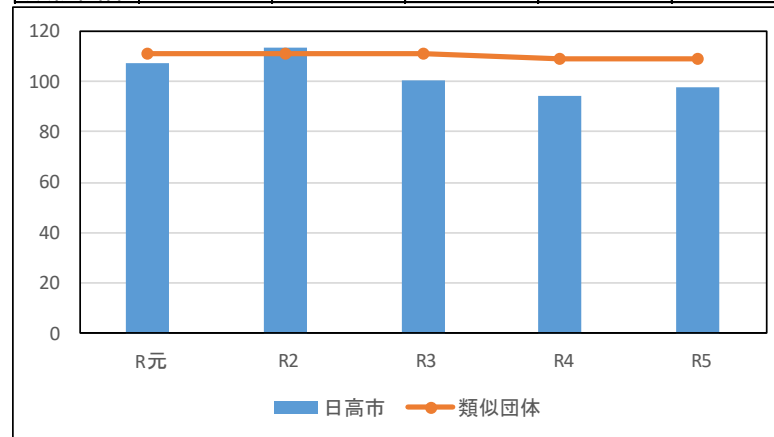
※大口利用者の給水量の増加に伴い、令和4年度に比べ令和5年度給水収益全体では、3,600万円程度の増加となっているが、コロナ禍前の令和元年度と比べると9,000万円程度の減額となっている。

【年間有収水量(m³)の推移】

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
7,084,029	7,204,417	6,246,612	6,184,164	6,396,459

【経常収支比率(%)】

年度	R元	R2	R3	R4	R5
日高市	107.71	113.47	100.84	94.12	97.91
類似団体	111.17	110.91	111.49	109.09	109.05



③水道料金収入の減少に対するこれまでの取組み

○民間活力の導入を推進し、業務の効率化を図りました。

○業務の委託化の進捗に伴い、行政改革の一環として26年間で8人の人員削減を行い、組織のスリム化、人件費の削減に努めてきました。

○埼玉県水道整備基本構想(埼玉県水道ビジョン)に基づき、県内を12ブロックに分けて広域化の検討、協議を進めています。

－ 委託を実施している主な業務 －

業 務 名
高岡浄水場運転等管理業務
水道水質検査業務
水道料金等徴収業務
水道メーター取替業務
漏水事故等緊急時対策業務
漏水調査業務

－ 職員数の推移(人) －

年 度	正規任用	再任用	備 考
～平成10	24		
平成11～13	21		
平成14	20		
平成15	19		
平成16	17		
平成17	16		
平成18～19	15		部長が課長を兼務
平成20～23	14		部長が課長を兼務
平成24～26	15		
平成27～28	15	1	
平成29～令和1	15		
令和2～令和6	16		

(部長を含み、臨時的任用職員を含まない)

－ 第5ブロックの組織構成 －

構 成 団 体 名
所 沢 市
飯 能 市
狭 山 市
入 間 市
日 高 市
埼玉県(企業局)
埼玉県(生活衛生課)

④埼玉県水道用水供給事業の料金改定の実施

料金改定方針

- ・令和7年度据え置き、令和8年度から料金改定を行う
県営水道の経営状況は、令和2年度・令和4年度・令和5年度・令和6年度と赤字となる見込み

日高市水道事業では…

- ・令和5年度県水受け入れ水量
3,869千 m^3 2億3,900万円
(全体配水量の54.7%)
- ・5,500万円程度受水費が増額となる見込み

県内水道事業体では…

- 県水を受水している割合は、事業体によって違う。
- 令和6年度に料金改定を行った埼玉県内の事業体は、7事業体
- 令和7年度以降に料金改定を検討している事業体は、13事業体となっている。

3. 水道料金改定の概要

- ①料金改定のポイント
- ②料金改定をしない場合との比較
- ③施設の更新工事等の実施
- ④一般世帯における影響額
- ⑤料金改定の適用時期

①料金改定のポイント

○令和8年4月検針分から水道料金約25%の値上げを行います。

水 道 料 金 表 （令和8年4月検針分から） 税込み

種 別	基 本 料 金				水 量 料 金			
	メーター 口径	基本料金 （1 か月につき）			水 量	金額（単価） （1 立方メートルにつき）		
		改定前	改定後	差額		改定前	改定後	差額
専 用 給水装置 及 び 共 用 給水装置	13mm	550円	671円	121円	1㎡から10㎡	66円	77円	11円
	20mm	880円	1,078円	198円				
	25mm	2,420円	2,970円	550円	11㎡から 20㎡	99円	121円	22円
	30mm	3,520円	4,400円	880円				
	40mm	7,480円	9,350円	1,870円	21㎡から 50㎡	143円	176円	33円
	50mm	11,000円	13,750円	2,750円				
	75mm	27,500円	34,430円	6,930円	51㎡から 100㎡	154円	187円	33円
	100mm	55,000円	68,750円	13,750円				
	150mm	110,000円	137,500円	27,500円	101㎡から 150㎡	165円	198円	33円
	200mm	220,000円	275,000円	55,000円				
					151㎡以上 ※新設	165円	209円	44円
	臨時使用として一時的に使用するとき（口径を問わず） 1立方メートル当たり						275円	330円

○基本的に料金体系はそのままとし、基本料金及び水量料金単価を増額することとしています。

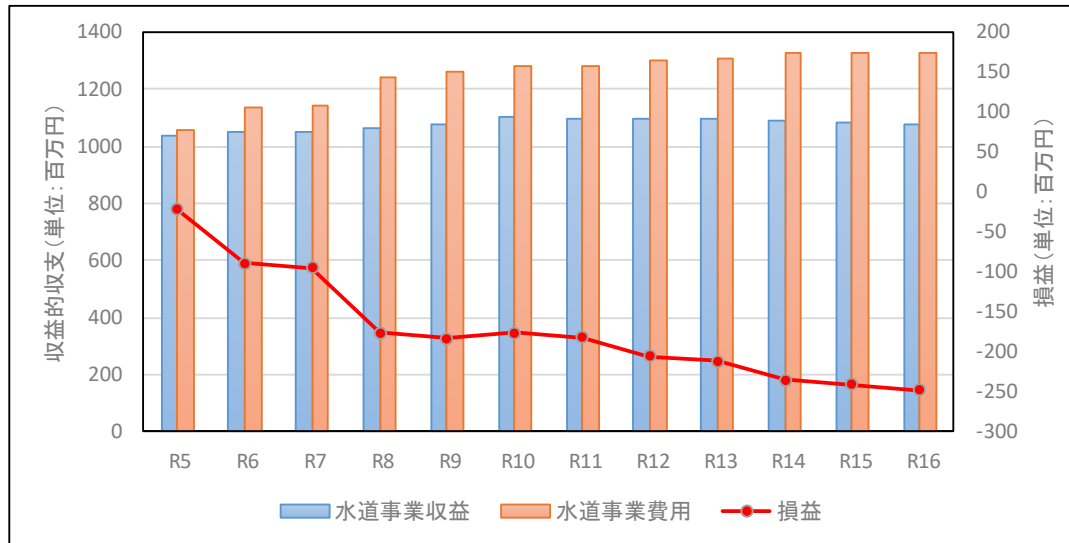
②料金改定をしない場合との比較

○料金を改定しない場合は、収益的収支において損失が継続します。

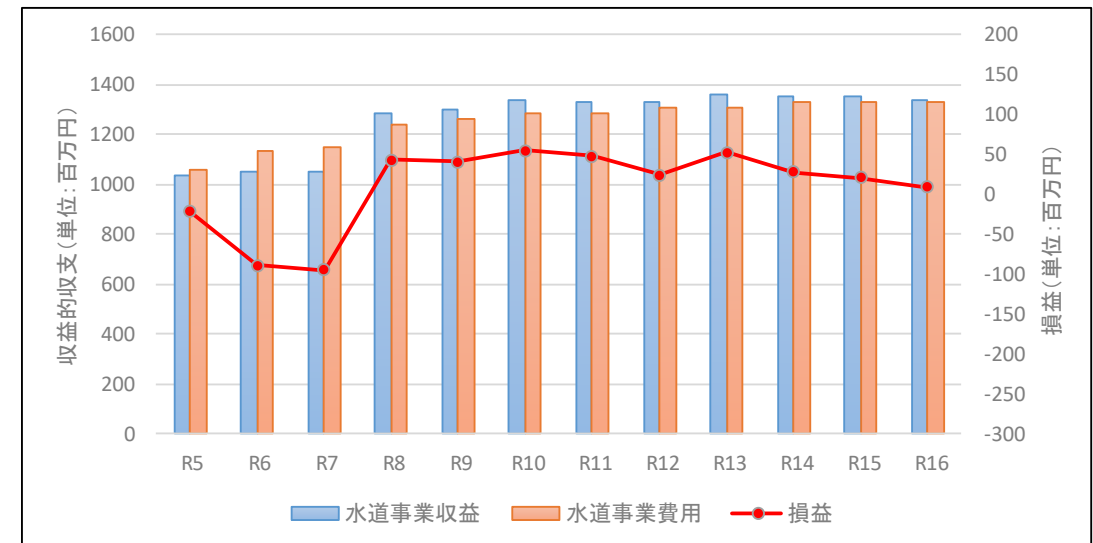
※折れ線グラフが損益となりますが、令和4年度以降から損失(赤字)が継続する見込みとなります。

○水道料金改定後も効率的な経営を進めながら、新たな財源確保を進め、3～5年程度で随時見直しを行います。

【料金改定前】



【料金改定後】



③施設の更新工事等の実施

【主な要因】

○配水管の新設及び老朽管の更新工事

- ・令和6年度 延長1,386m実施

○大規模な工事の実施(近年実施済み又は予定している工事)

- ・武蔵台配水場更新工事(令和6年度～令和7年度)
- ・高麗川配水場電気設備等更新工事(令和4年度～令和6年度)
- ・高萩浄水場電気・機械設備等更新工事
- ・高岡浄水場中央監視制御装置更新工事
- ・高岡水管橋耐震補強工事

④一般世帯における影響額

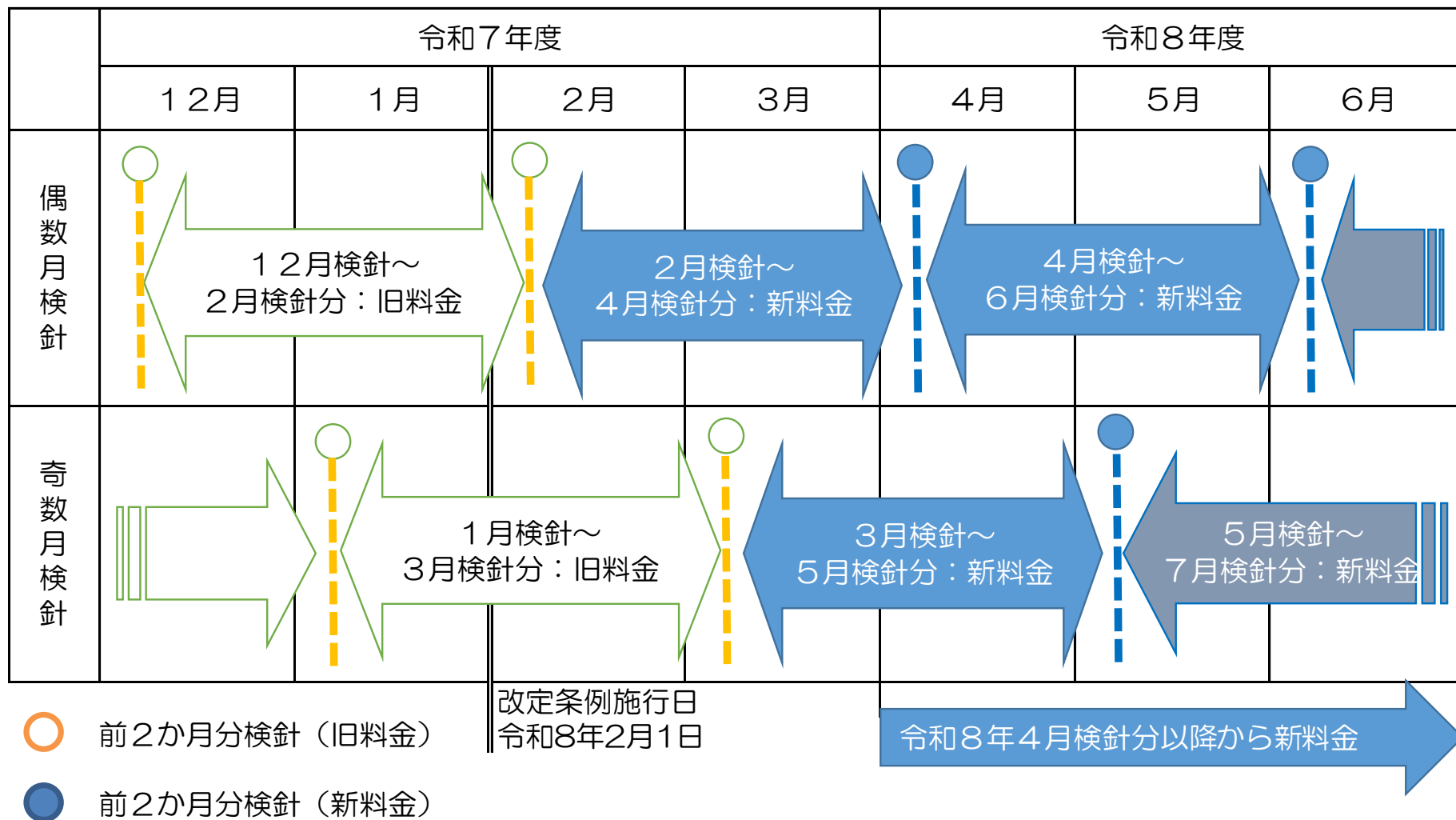
○一般世帯でメーター口径20mmで20m³使用の場合
⇒1か月あたり528円(税込み)の増額となります。

◎一般世帯における現行料金と新料金との影響額は次のとおりです。

(1か月 税込み)

水量区分	現行料金		改定後			
	基本料金	料金総額	基本料金	料金総額	現行料金から改定料金への増加額	現行料金から改定料金への増加率
一般用、メーター口径20mmの場合						
5m ³	880円	1,210円	1,078円	1,463円	253円	20.91%
20m ³	880円	2,530円	1,078円	3,058円	528円	20.87%
30m ³	880円	3,960円	1,078円	4,818円	858円	21.67%
40m ³	880円	5,390円	1,078円	6,578円	1,188円	22.04%

⑤料金改定の適用時期



今後の水道事業の経営に向けて

日高市水道ビジョンでは、本市水道事業が掲げる基本理念を「笑顔と元気を支える安心いっぱいの水道」としています。この基本理念を支える柱として、①将来にわたり持続する水道、②安心できる水道、③災害に強い水道という、三つの基本方針を示しております。

今後についても、効率的な事業運営を進めていきながら、新たな財源確保に努め、経営状況を注視し、持続可能な水道事業の経営に努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。